

ひろか

だより

第382号

令和6年5月16日

発行

弘果 弘前中央青果株式会社

TEL 0172-27-5511

弘果



吸収のよいリン酸肥料

着色や食味向上の手助けに

アカツキ
0-12-8

詳しくは弘果物流まで

令和5年産りんご止市



弘果りんご止市の様子

両市場ともに平均単価・取扱金額過去最高
堅調な取引で締めくくります

弘果及び津軽りんご市場において4月25日、令和5年産りんごの止市が行われました。

5年産りんごは、春先の凍霜害や猛暑、干ばつ等が生育に大きく影響した結果、下位等級品が多くなり、更に鳥獣害も多い年でした。販売面では、食味が良く、全国的に品薄状態で青森県産の引き合いが強まったことや、輸出需要の高まりから、上実から下位等級品まで、1年を通して堅調に取引され、その結果、平均単価、取扱金額は過去最高となりました。

両市場を合わせた5年産りんご取扱数量は、647万0937箱（前年比89.9%）、1箱あたりの平均単価は6098円（同132.7%）となり、取扱金額が弘果では259億9692万円（同117.1%）、津軽りんご市場では134億6227万円（同123.7%）となりました。

両市場とも5年産取引の最後を飾る競売前のセレモニーでは、挨拶後に手締め、乾杯で景気付けを行い、競売がスタートしました。

弘果

午前8時より行われた止市には、買参人約200人、生産者約350人が来場しました。当日は1万3159箱（前年比122.3%）が入荷し、「ふじ」の上実が高値1万8360円（同170.0%）、中値1万2960円（同133.3%）、安値1万800円（同125.0%）、小玉が高値1万4040円（同144.4%）、中値1万1880円（同137.5%）、安値1万800円（同133.3%）での取引となりました。

津軽りんご市場

午前10時より行われた止市には、買参人約80人、生産者約350人が来場しました。当日は9316箱（前年比86.8%）が入荷し、「ふじ」の上実が高値1万8360円（同154.5%）、中値1万2960円（同126.3%）、安値1万800円（同125.0%）、小玉が高値1万4040円（同130.0%）、中値1万1880円（同122.2%）、安値1万800円（同125.0%）での取引となりました。



津軽りんご市場りんご止市の様子

令和6年度(2024年度)りんごトレサビリティのご案内

最新情報をチェック！
農業一覽 令和6年度(2024年度)版
販布前に正しく知らず
農業の「有効成分の総回数」
輸出りんごの信頼をアップ
弘果TSS防除ガイドライン

Web申請のすすめ
～WEB申請の入力方法が変わります～

令和6年7月22日(月)～10月31日(木)

TEL.0172-29-4184(代表)

りんごトレサビリティ
2024年度(令和6年度)りんごトレサビの書類を5月中旬より発送いたします。

本年産のトレサビ情報をいち早くご確認いただくため、お手元に届き次第早急に開封し、同封書類のご確認をお願いいたします。

令和5年産の取扱数量は223万8639箱（同94.6%）、平均単価は6014円（同130.8%）となりました。

生産者団体定時総会

弘果グループ関係団体（9団体）では、3月下旬から5月上旬にかけて、定時総会を行いました。

各団体の総会では、令和5年度の事業報告と収支決算、今年度の事業計画案、予算案がそれぞれ審議、可決され、令和6年度のスローガンを読み上げ、満場の拍手を以て採択されました。

また左記8団体では、任期満了に伴う役員改選が行われました。

弘果りんご連絡協議会

会長 須藤恵司 国吉出 荷組合(再任)
副会長 林徳昭 弘下・下湯口りんご研究会(再任)、工藤郁男 清水森りんご出荷組合(再任)、水木将夫 大鰐地区りんご連絡協議会(再任)、三上勝彦 黒石高花出荷組合(再任)、工藤浩文 マル弘十面沢出荷組合(再任)

弘果りんご連絡協議会 婦人部

部長 福士すみえ 百津 出荷組合(新任)
副部長 成田勝子 乳井第一出荷組合(再任)、對馬智子 折笠マル一出荷組合(新任)

弘果りんご連絡協議会 青年部

部長 外崎誠也 高杉りんご生産販売研究会(新任)
副部長 鳴海勝一 ヤマ 独出荷組合(再任)、工藤公則 広船第一出荷組合(新任)

青森オリジナルメロン生産連絡協議会 青年部

部長 吉田匡克 だるま 生産組合(新任)
副会長 五十嵐剛 だるま 生産組合(再任)、三浦彰仁 丸新出荷組合(新任)



吉田匡克新部長



外崎誠也新部長



福士すみえ新部長

津軽りんご市場連絡協議会

会長 小関清隆 マル関 出荷組合(新任)
副会長 橋本正美 丸和 出荷組合(新任)、安田勉 ドリーム出荷組合(再任)、棟方孝則 菖蒲川 出荷組合(新任)、木村 由則 西友会(新任)



小関清隆新会長

津軽りんご市場連絡協議会 婦人部

部長 木村イクリ 建石 アップル会(再任)
副部長 八木橋恵美子 強巻出荷組合(新任)、会津夏子 丸隆アップル(新任)

津軽りんご市場連絡協議会 青年部

部長 村山誠也 狐森ががやき出荷組合(新任)
副部長 木村邦裕 ころのとり出荷組合(新任)、出町文人 樹の会(新任)



村山誠也新部長

弘果地場やさい連絡協議会

会長 相馬義彦 TMT (再任)
副会長 北島孝文 松倉菜出荷組合(再任)、石田健作 清野袋蔬菜生産出荷組合(再任)

「農」の「業」を継ぐ

期待の後継者



泉谷 裕斗さん (30)
 【園地所在地】五所川原市金木町
 【作付状況】シャインマスカット・ハウス3棟(270坪)、米・30畝
 【就農年】2021年
 【きっかけ】米農家に生まれ育ちましたが、家業に全く興味が無く、高校卒業後は建設業に就きました。

家業である「農業」に希望を見出し、夢に向けて努力する期待の後継者を紹介します。
 従事していました。自分の日々の仕事に追われていたことが、家業も人手不足ということもあり、時折手伝いはしていました。こうして農作物の生産に携わっていく中で、実はこの仕事に向いているのではないかと思うようになりました。人手不足による消極的な理由ではなく、むしろ積極的に自分で農作物を生産したいと考えるようになり、仕事を辞め、本格的に就農しました。

【現在】就農し責任感が伴うことになり、ある意味「作業」から「仕事」に変わり見えてきた部分が多々あります。また、家業の米作だけでなく、就農当初から農業経営の多角化を考えており、その一環として弘果の協力で「シャインマスカット」を定植しました。弘果とのつながりは、栽培指導、出荷・販売面で非常に心強く、今後の本格的な出荷に向けて栽培管

野菜・果実トレーサビリティ

令和6年度野菜・果実トレーサビリティの受付が始まりました。消費者へ「安心・安全」を届けるために皆様の加入をお願いします。

場所 弘果トレーサビセンター(第2卸売場内)
時間 午前8時～午後5時
休業日 市場休市日(弘果カレンダー参照)
費用 3000円(令和7年3月31日まで有効)
対象品目 野菜と果実(りんご、天然の山菜を除く)

【ご記入】野菜と果実の品目は必ず加入してください。
弘果オリジナルメニューも対象になりました。
 【持参したいただくもの】登録はがき、登録費用、出荷登録番号票 ※初めてご登録される方は印鑑もご持参下さい。詳しくは弘果総合研究開発(電話0172-29-4184)、またはそ業部・果実部(電話0172-27-5511)まで。

アカツキ 高品質りんご生産を手助け

弘果物流では、肥料や資材等、営農に必要なアイテムを多数販売しています。その販売する商品の中から、特に力を入れて販売している肥料「アカツキ」は、局所施肥により、徒長防止、着色及び食味の向上等の効果が期待できます。

板柳町の葛西直人さんは、弘果物流の薦めで「アカツキ」を使用し約5～6年が経ちます。葛西さんは「使用しからは、

チツソ管理がし易くなりました。また、葉も取りやすくなり、着色や食味も良くなりました。その効果を実感し、「他のリン酸系肥料と比べて価格としては高めですが、隔年結果が無く、ツル割れが少ない等、高品質な生産につながっています」と費用対効果の高さを強調していました。



アカツキの効果を実感したと話す葛西さん

は左右されますが、その中でも着色、食味向上の手助けをしてくれます。当社イチオシ商品ですので、お買い求めいただき、高品質なりんご生産にお役立てください」と話していました。

りんご生産者が効果を実感し、販売担当者が自信を持っておすすめするリン酸系肥料「アカツキ」のお問い合わせは弘果物流までお願いいたします。

(株)弘果物流
 ☎0172-27-1800
 信を持っておすすめするリン酸系肥料「アカツキ」のお問い合わせは弘果物流までお願いいたします。



収穫したてのいちごを頬張る園児たち

平川市でいちごを生産する「ネクストジェネレーションファーム」(松田清代表)は5月2日、同日の出こども園の園児を招いていちごの収穫体験を行いました。

青森県平川市産 **松田さん家のいちご**
 取組み、「松田さん家(ち)のいちご」というブランドで、主に弘果へ出荷しています。収穫体験は子ども

こども園児収穫体験

「大きい」「おいしい」「甘い」と感激していました。松田代表からは、東北地方では同社のみが栽培している新品種「貴婦人の微笑み」も振る舞われ、園児たちは自分の手のように大きいいちごに驚いた様子でした。

当社果実部と農産指導課では4月26日、津軽地域でのいちごの産地化へ向け、栽培講習会を開催しました。

当社オリジナルブランド「つがりあん」いちごは、省力で高収益が見込める作物として「いちご」に着目し、一大産地化とブランド化を目指し、普及を推進しています。



栽培講習会開催

いちごには様々な品種があり、各品種の特性を見極め、青森県での栽培に適合しているか等の栽培実践や、消費に関する市場調査を重ね、「ドーフィン」をはじめ4品種を商品化して展開しています。

約20名が参加した同講習会では、基本的ないちご栽培のポイントや栽培管理について話し、参加者は今後の参考にしようと熱心に聞き入っていました。

参加者は今回の講習会について「基本的な栽培管理の徹底が高品質生産につながるの、講習の内容を実践していきたい」と話していました。また、当社販売担当者は「つがりあん」いちごの更なる品質向上でブランドの価値を構築し、「作る」「売る」「買う」それぞれに対して魅力ある品目として、生産・販路を拡大していきたいと考えています」と意気込みました。

当社では、つがりあんにちごの栽培者を募集しています。栽培から販売まで丁寧な指導いたしますので、希望する方は、当社農産指導課、または果実部までご連絡ください。



高品質生産へつなげるため熱心に受講する参加者

弘果スキーレーシングクラブ後援会では4月16日、同クラブ所属の土屋正恵、横濱汐利、小林萌子選手の活躍を讃える成績報告会を、弘前市のフォルトゥナにおいて開催しました。

成績報告会には、弘



シーズン成績報告会開催

果社員や後援会関係者ら約130名が出席、全日本スキー選手権リレーでの25年ぶりの優勝をはじめ、国民スポーツ大会及び各大会での優勝や上位入賞等、輝かしい成績が紹介されました。土屋選手は「個人ではどのレースでも表彰台に立つことができませんでした。念願だった弘果SRCとしてリレーに出場し優勝できたことはとても誇らしく思います」と話し、横濱選手は「リレー優勝という目標を最高のメンバーで果たせたことが何より良かったです」と感慨深く話していました。

小林選手は同競技で日本のトップを走る2人のチームメイトの背中を追った1年を振り返り「社会人の中で勝ち抜く大変さを痛感した1年でした。皆様の応援が励みとなり、チームに貢献できてよかったです」と話

果社員や後援会関係者ら約130名が出席、全日本スキー選手権リレーでの25年ぶりの優勝をはじめ、国民スポーツ大会及び各大会での優勝や上位入賞等、輝かしい成績が紹介されました。土屋選手は「個人ではどのレースでも表彰台に立つことができませんでした。念願だった弘果SRCとしてリレーに出場し優勝できたことはとても誇らしく思います」と話し、横濱選手は「リレー優勝という目標を最高のメンバーで果たせたことが何より良かったです」と感慨深く話していました。

小林選手は同競技で日本のトップを走る2人のチームメイトの背中を追った1年を振り返り「社会人の中で勝ち抜く大変さを痛感した1年でした。皆様の応援が励みとなり、チームに貢献できてよかったです」と話



今シーズンの活躍を讃えた(左から)横濱選手、土屋選手、小林選手